

風評被害に負けない対策を

只見町農商工風評被害対策協議会



▲あいさつをする目黒町長

6月8日に只見町役場本庁で目黒町長はじめ関係者14名が出席し、只見町農商工風評被害対策協議会が開かれました。議事で同協議会の規約が承認され、同日に設立しました。

目黒町長は、あいさつで「原発事故に伴う県内の風評被害は深刻な状況、当町でも協議会を設立し、スピーディーに考えを

共感しながら、有効的な対応策を協議検討し、実施していく」と述べました。引き続き、具体的な対策実施案などについて協議され、取り組み方針や実施事業の内容などを決めました。

今年度から行われる主な対策事業と協議会構成員は次のとおりです。

平成23年度 主な対策実施事業

イベント・キャラバン事業

- ①「自然首都・只見」臨時アンテナショップ開催（7/16～8/14、千葉県柏市）
- ②会津田島～只見間のツアーバス運行（7/1～年度末）
- ③観光PRイベント・キャラバンへの参加（随時）
- ④教育旅行、自然体験学習等の誘致（随時）

情報発信・PR事業

- ①テレビ番組制作協力「イワナ棲む山里 奥会津・只見の釣り旅」（7/17～7/24、衛星放送のスカパーで放送予定）
- ②「自然首都・只見」テレビコマーシャル、新聞広告掲載
- ③ホームページ、ブログ、ツイッターなどによる情報発信運動の実施

震災復興キャンペーン事業

- ①宿泊者へ町内で利用できる「震災復興商品券」サービス（7/20～、先着3,000名、原則1人1泊につき2,000円）

イベント・キャンペーングッズ作成事業

- ①のぼり旗、ステッカー、シール等の作成

その他

- ①風評被害対策アドバイザーの招聘

只見町農商工風評被害対策協議会 構成員（敬称略）

| 団体名 | 役職名 | 氏名 |
|------------------------|--------|--------|
| 只見町 | 副町長 | 久保 克昌 |
| 会津みなみ農業協同組合 | 只見支店長 | 酒井 邦廣 |
| 只見町商工会 | 事務局長 | 目黒 長一郎 |
| 只見町農事組合連絡協議会 | 会長 | 馬場 和正 |
| 伊北地区非出資漁業協同組合 | 参事 | 吉津 勝夫 |
| 南会津西部非出資漁業協同組合 | 只見支部長 | 小沼 信孝 |
| 只見町旅館業組合 | 組合長 | 菅家 和人 |
| 只見特産株式会社 | 代表取締役 | 横山 修一 |
| 株式会社季の郷湯らり | 営業課長 | 小林 晋 |
| 株式会社会津ただみ振興公社 | 取締役支配人 | 長谷部 浩司 |
| 一般社団法人 只見町観光まちづくり協会 | 事務局長 | 目黒 典子 |

目黒町長が会長に就任

只見川電源流域振興協議会定期総会



▲就任のあいさつをする目黒町長

只見川電源流域振興協議会の平成23年度定期総会が6月9日に季の郷湯ら里で行われ、同協議会を組織する只見町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、南会津町、檜枝岐村の町村長など関係者が出席しました。

議事では平成22年度の事業報告と収支決算、監査報告があり、続いて平成23年度の事業計画や予算について審議されました。今年度の主な事業は、地域産業の起業をはじめ、奥会津人材育成、シンポジウム、広域観光PR、歳時記の郷基盤整備事業など



▲季の郷湯ら里で行われた総会

どで、いずれも奥会津地域の活性化を目的に取り組まれます。議案の最後に役員選出が行われ新会長に只見町の目黒町長が選任されました。目黒町長は「長い伝統ある協議会で、さまざまな課題もあります。皆様とともに県の支援もいただきながら、奥会津地域の振興について、しっかりと協議していきます。よろしくお願います」と就任のあいさつを述べました。会長の任期は平成23年6月9日から平成25年6月8日までの2年間で

震災復興に支援の取り組み

只見町青少年旅行村・いいいの森

只見町青少年旅行村・いいいの森では、県内外の小・中学校や保育所などが、宿泊体験による教育活動を行う目的で、旅行村を利用する場合の施設使用料を6月から免除しています。

この取り組みは、震災の影響により県内の各自然の家などの宿泊体験施設が利用困難なことや、原発事故に伴う風評被害対策の一環として行われているもので、具体的な免除の内容は、

入村料やコテージ、東西バンガロー、民家（宿泊施設）の使用料が全額免除となります。

最初に使用料が免除されたのは、6月9日から10日に利用した喜多方市立高郷小学校で同校の4年と5年生、31名が民家に宿泊、野外炊飯活動などを体験しました。

免除期間は平成23年度使用分のみです。



▲野外炊飯活動をする高郷小学校の児童

様式第1号 (第5条関係)

平成 年 月 日

運転免許自主返納支援事業申請書

只見町長

(申請者)
住所 只見町大字 字 番地
氏名
生年月日 年 月 日生
電話番号

福島県公安委員会に運転免許を自主返納しましたので、次のとおり関係書類を添えて申請します。
また、只見町が必要と認めた場合は、運転免許証の返納について、公安委員会に照会することに同意します。

1. 公安委員会が発行した運転免許取消通知書又はその写し
2. 雪んこタクシー利用券 (枚)
3. 住民基本台帳カードの交付
・希望する ・希望しない

※役場に提出していただく申請書です。

高齢者の交通事故を無くそう
運転免許自主返納支援事業

只見町では、自動車などの運転に不安を持つ方や高齢者ドライバーの方が起こす交通事故を減少させることを目的に、運転免許自主返納支援事業を行っています。

この事業の特徴は町民の方が自主的に運転免許証を返納された場合に、その方の日常生活の交通手段を確保するための支援を行うことです。具体的には、

雪んこタクシーの利用券を最高で100枚支給いたします。さらに運転免許証に代わる身分証明書として住民基本台帳カードの交付を受けた方には発行手数料を免除いたします。なお、この各支援は、返納されたご本人に対し1回限りとなります。

この支援を受けたい方は、専用の申請書に公安委員会が発行する運転免許取消通知書本書か写しを添えて役場に提出してください。現在、運転免許証を自主返納された町民の方は15名で皆さんが支援を受けています。返納をお考えの方は、ぜひご相談ください。



▲15名目に返納された渡部千代さん(福井)

無事故・無違反で過ごした45年間の運転をやめ「雪んこタクシー券」をたくさんもらったことを両親の墓に1枚目を使って報告に行っています。今後は、病院に、友達に会いに買い物に利用します。ありがたかったです。

旧只見中学校に暫定移転し6月会議
只見町議会

只見町議会と事務局は、役場本庁の耐震事情により、6月15日から旧只見中学校の3階に暫定移転しました。

その後、最初の議会、6月会議が6月21日から24日と27日の五日間開かれ、常任委員会、全員協議会、一般質問、議案審議、陳情や請願の審査報告などが行われました。

6月会議では、一般会計補正予算など11議案、報告4件、追加1議案を原案のとおり可決し、追加の人事案件1件に同意したほか、議員提案の原発事故に関



▲旧只見中学校での6月会議

する請願の意見書などを採択して散会しました。なお、傍聴も今までどおりできます。

東邦銀行から「自然首都・只見応援基金」に寄附

株式会社東邦銀行(頭取 北村清士氏)では、森林、湖、公園などの自然環境の保全活動や震災の影響を受けた自然環境の復興に役立てていただきたいとの趣旨で、「東邦エコ定期預金」に基づく一定額を「自然首都・只見応援基金」に寄附されました。

なお、今回は6月8日付けで84万円をご寄附いただきました。只見のブナ原生林の保護などに有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

～春の叙勲～ 馬場和正さんに 旭日単光章

▶ 旭日単光章を受章された馬場和正さん



馬場和正さん（蒲生）は、平成元年8月に只見町農業委員になられ、8期目となる現在も活躍されている。平成10年8月から平成22年8月までは会長を務められた。

また、平成元年6月から只見町土地改良区総代となられ、平成16年6月からは伊北漁業協同組合代表理事組合長も務められている。

馬場さんは、農業委員会の指導者として、各種事業の推進に積極的に取り組まれ、地域の農業振興や活性化に尽力されています。さらに町の農政全般にも深く関わり農産物の価格低迷や農村社会の高齢化など厳しい農業情勢の中で農家経済の向上、農業農村の発展のため、現在も献身的に努力されています。

このように、只見町の農業振興に大きく貢献されていることから、旭日単光章を受章されました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

緑の香りと心地よい風のなか健康づくり

只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会

時おり初夏の太陽が鮮やかな緑を照らすなか、6月19日に只見湖畔健康マラソン&ウォーキング大会が行われました。

宮淵公園をスタート、ゴール地点に、マラソン部門とウォーキング部門にエントリーした198名が湖面に映る緑濃い山々を眺めながら、思い思いのペースで一週4.2kmの只見湖周辺のコースを走ったり歩いたりして、自分の体力を確かめながら健康づくりをしました。この日は気温も上昇し、暑い

日でしたが参加者は、さわやかな初夏の風を浴びながら楽しく汗を流し全員が完走、完歩しました。

マラソン部門の優勝者は、▽2km・菅家昭浩さん（黒谷）▽4.2km・矢沢裕也さん（二軒在家）▽8.4km・早田洋平さん（相馬市）▽2km親子ペア・目黒楓華さん／公さん（福井）でした。ウォーキング部門では吉津花恋さん（只見）がラッキードル賞となりました。



防火意識と消火技術の向上を目指す

明和地区防災訓練

グループホーム和の里（小林）からの出火を想定し、6月26日に明和地区防災訓練が和の里周辺で行われ、消防団員、ポンプ車、ポンプ積載車などが出動しました。

今回の訓練は、和の里職員と消防団員が協力し、避難誘導から放水放水や水防訓練を行うことで防火意識と技術の向上を目指すことが目的です。参加した和の里職員や消防団

員は、迅速かつ的確に避難誘導から放水訓練を行い、機械器具の使用法やポンプの送水圧の調節など、消火動作を再確認していました。

一連の消火訓練が終了後、和の里職員による消火栓と消火器の操作訓練や消防団員による土の積み訓練なども行われ、防災への心構えをさらに強化することができた効果的な訓練となりました。



▲放水訓練をする消防団員や和の里職員